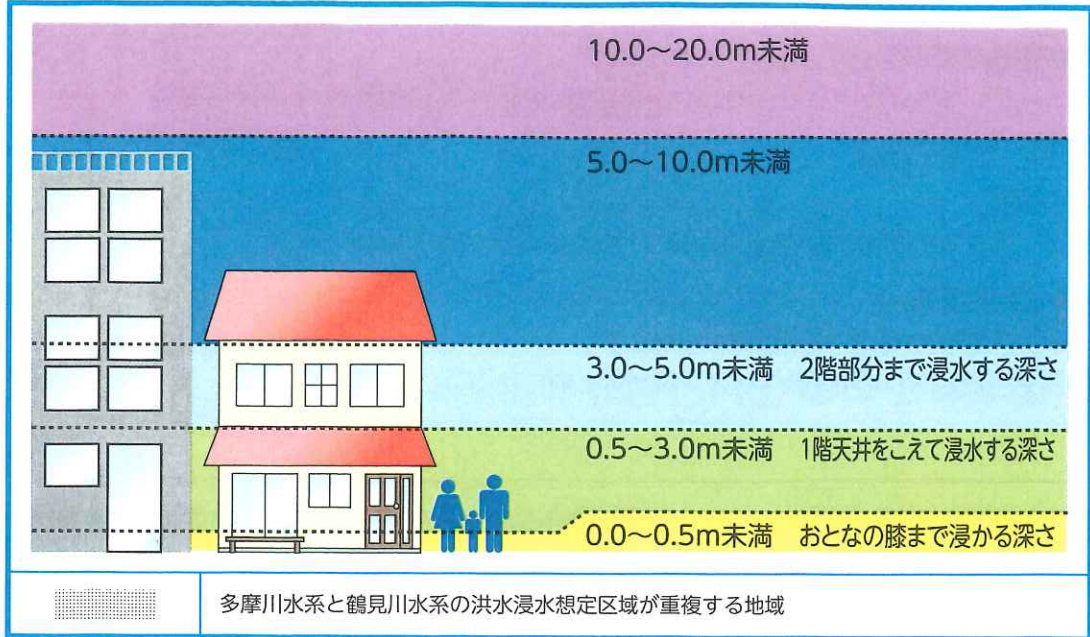


凡 例 (Explanatory Notes)

◎浸水深のめやす



◎避難する際に注意する箇所

	家屋倒壊等氾濫想定区域	堤防決壊等に伴う氾濫流や河岸侵食により家屋が倒壊・流出するおそれがあり、屋内での退避ではなく、早期の立ち退き避難が必要な区域 ※家屋の構造、強度特性や護岸対策等の違いにより、この区域の境界はあくまでも目安です。
	アンダーパス	大雨時に雨水が急激に集中し、冠水して安全な通行に支障をきたすおそれがある場所 (進入すると危険なため、冠水時の通行は控えてください。)
	高潮警戒区域	台風や発達した低気圧によって海面が異常に高くなり、海水が護岸を越えたり高い波による越波が生じて、浸水するおそれがある区域
	急傾斜地崩壊危険区域	崖崩れにより相当数の居住者等に危害が生ずるおそれがある急傾斜地と、崖崩れが助長・誘発されないようにするために切土・盛土などの一定の行為を制限する必要がある土地で、急傾斜地法に基づき神奈川県が指定する区域 (平成28年4月現在)
	土砂災害警戒区域	急傾斜地の崩壊が発生した場合に、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあり、土砂災害への注意が必要であるため、土砂災害防止法に基づき神奈川県が指定する区域 (平成28年7月現在)

	一級河川 (国土交通省管理区間) 浸水想定区域作成対象河川 (鶴見川、矢上川、早淵川、鳥山川)		河川法準用河川 (横浜市管理)
	一級河川 (神奈川県管理指定区間) 浸水想定区域作成対象河川 (鶴見川、早淵川、大熊川、恩田川)		その他の河川 (横浜市管理) ※市街化区域のみ
	一級河川 (横浜市管理区間) 浸水想定区域作成対象河川 (鳥山川、砂田川、梅田川)		

	都県界		高速道路・有料道路
	市区界		主要道路
	町丁目界		指定緊急避難場所
	J R 線・駅		雨量観測所
	私鉄線・駅		水位観測所
	市営地下鉄線・駅		河川監視カメラ